

このままじゃ  
大変なことになっちゃう!!

# 9条破壊 いつでもどこでもアメリカの戦争への参加 「戦争立法」ストップ!!

安倍政権は、集団的自衛権の行使容認の「閣議決定」を具体化する、「戦争立法」に突きすすんでいます。5月中旬にも法案を提出し、今国会中の強行成立を狙っています。

## 歯止めなくし「戦争する国」へ

その内容は、武力行使するアメリカ軍の後方支援を、いつでもどこでも、どんなケースでも可能にするものです。

そのために、これまでの海外派兵にあった、「戦闘地域にはいかない」「武力行使はしない」という歯止めをなくします。アメリカとともに「戦争する国」づくりが、実体です。

## 日本への攻撃がなくても発動

また、日本に対する武力攻撃がなくても、日本の存立が脅かされる明白な危険がおこったら、集団的自衛権の行使を発動するとしています。

どうい場合に発動するのかが大問題ですが、時の政権の裁量で無限定に広がります。「先制攻撃の戦争でも発動するのかが」という共産党の追求に、首相は否定しませんでした。



## 「過去の戦争の反省を忘れるな！」

「戦争立法」で戦闘地域に出かけ、武力行使をすることになれば、自衛隊員が殺し殺されることになるのはまちがいありません。かつて日本は無謀な侵略戦争にのりだし、310万人の日本国民とアジアで2000万人の犠牲者を生みました。日本国憲法はその反省の上に、戦争放棄と武力行使の禁止を定めました。



## 反戦平和を貫き92年

日本共産党は92年間、反戦平和の旗を掲げ、侵略戦争反対を貫いた唯一の政党です。戦争を推進した大政翼賛会に合流した政党が、戦後名前を変えて出発しましたが、日本共産党は戦争反対を貫き、名前を変えずに今日まで活動を続けてきた政党です。

「自衛隊員の命を守れ」「若者を戦場にするな」の声と運動を広げましょう。日本共産党は全力をあげます。

**他党の態度は…?**  
政権与党の公明党は、「平和の党」の看板を掲げてきましたが、「戦争立法」の片棒をかついでいます。維新の党も「戦争立法」推進の立場であり、民主党も立場が定まらない状況です。



## 「憲法9条を守れ」の願い **日本共産党** へ



左から ● 関戸勇市議 ● 加増みつ子市議 ● 小池えつ子市議 ● 上野たかし県議  
● 遠山ちえ子市議 ● 鈴木きよし市議

「平和新聞」より

## 明るい取手

2015年5月号外  
発行: 日本共産党取手市委員会

◆ 日本共産党の見解を紹介します。